

2020 年度実施概要

学校名

気仙沼市立大島小学校

採択活動名

「緑の真珠プロジェクト」～見つめよう大島 考えようわたしたちの海～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 大島の自然の豊かさにふれて	3年	総合
2. 大島の海の豊かさを感じて	4年	総合
3. 大島の海を見つめて	5年	総合
4. 大島の海と生きる	6年	総合

取り組みの概要

「見つめよう大島 考えようわたしたちの海」をテーマに、地域資源である自然、養殖業、それらをつなぐ人材を生かした活動を充実させながら、ふるさと大島の自然や環境を見つめ、自らかかわり、調べ、気づき、大島のよさを発信しようとする児童の育成を海洋教育において目指してきた。

海洋教育に関わる学習活動としては、1・2年生は生活科との関連、3年生以上は主に総合的な学習の時間との関連により取り組み、また、各教科の中にも、海洋教育の理念を進んで取り入れ、実践を行ってきた。主な実践内容は以下の通りである。

全校	<ul style="list-style-type: none"> ・海に親しむ集い…縦割り班による砂の造形展，水遊び体験 <p>水遊び体験については、コロナの影響で海開きが行われなかったため、昨年よりも範囲を狭め、安全に留意し実施した。児童会が中心となり、気仙沼や大島に相応しいテーマを考え、縦割り班ごとに砂の造形を行った。大島の砂、海を身近に感じ、自分たちの住む地域の海が自慢できる場所であると感じることができた。水泳の指導ができなかったため昨年度実施した遠泳は中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田の浜の清掃活動 <p>小田の浜の清掃活動を行い、自分たちが住む地域の浜をきれいに保ちたいという気持ちを高めた。また、その後の砂の造形に、収集した漂流物を活用するグループも見られた。</p>
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学習において、砂浜の貝を材料として利用する工作活動（生活科，図工科） <p>砂遊びや、砂浜で収集した貝殻等を活用し工作を行うことを通して、海に親しんだ。</p>

4～6年	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖体験をもとにした児童の探究活動 今年度も大島漁協青年部の方々にご協力いただき、4年生がワカメ、5年生がカキ、6年生がホタテの養殖体験を行った。そこから、各学年が実態に応じた課題をもち、調べ学習や地域の講師の方々との関わりを通して、児童一人一人が海に対する思いをもって膨らませることができた。 また、児童の興味関心や養殖、地域の海に関する課題から、水産試験場の方や東京海洋大学の教授から講話をいただきながら、様々な視点で海の恵みについて考えられるようカリキュラムを進めることができた。 ・他校との交流活動（4年・兵庫県 東神吉小学校） 自分たちが学んでいることを振り返り相手に伝えることや、自分たちの取組とは違う地域の活動を知ることを通して、自分たちの地域の良さや自分たちが取り組んでいる活動の希少さを改めて感じることもできた。 ・海洋教育発表会 年間を通し活動してきたことについて、自校での発表会を行った。（リモートを活用しての実施。）児童が考えてきたことを発信する活動をすることにより、海によって人と人がつながってきたことを実感するとともに、自分たちが暮らす地域だけでなく、様々な地域、国々がつながっている海を持続的に利用できることの大切さを考えることができた。
------	--

活動中の写真



<低学年・海の活動>



<4年・ワカメ種挟み体験>



<5年・カキ剥き体験>



<6年・ホタテの選別体験>